

令和元年度 宮城県地域年金展開事業 取り組み経過 (平成31年4月から令和元年12月まで)



日本年金機構

Japan Pension Service

仙台東年金事務所
(宮城県代表事務所)

目次

1 地域連携事業	P. 2
(1)事業の取り組み状況	P. 3 ～ P. 5
(2)取り組み状況の中間総括及び今後の対策	P. 6
2 年金セミナー事業	P. 7
(1)事業の取り組み状況	P. 8 ～ P. 12
(2)取り組み状況の中間総括及び今後の対策	P. 13
3 地域相談事業	
(1)事業の取り組み状況	P. 14 ～ P. 15
(2)取り組み状況の中間総括及び今後の対策	P. 16
4 年金委員活動支援事業	P. 17
(1)事業の取り組み状況	P. 18 ～ P. 20
(2)取り組み状況の中間総括及び今後の対策	P. 21
5 「ねんきん月間」「年金の日」の取り組み	P. 22
6 第13回宮城県地域年金事業運営調整会議での 主なご意見等	P. 23 ～ P. 24
7 宮城県地域年金事業運営調整会議	P. 25
8 各年金事務所取り組み状況	P. 26 ～ P. 31

1 地域連携事業

●地域連携事業及び地域相談事業の重点取組方針

地域連携事業につきましては、市区町村や自治会、事業所、関係機関、関係団体等と連携し、「産前産後期間の国民年金保険料の免除」や「年金生活者支援給付金」等の制度改革等に関する周知・啓発活動を、地域型、職域型それぞれの年金委員と連携し実施していきます。

また、地域相談事業につきましては、市区役所・町村役場、自治会、大学、商業施設等に出張年金相談の協力を依頼・実施していくことで地域住民の幅広いニーズに応えられるよう取り組みます。

(1) 事業の取り組み状況

① 自治体との連携

各年金事務所において、管内市町村職員を対象とした事務研修会等を開催しました。
併せて、市町村向け情報誌「かけはし」を隔月で発行し、制度周知及び情報共有を図りました。
そのほか、県や市町村が発行している広報誌等へ、年金出張相談会及び保険料納付相談会の開催等の情報を掲載いただきました。

事務研修会 開催状況	平成30年度 実施回数	平成30年度 出席人数	令和元年度 実施回数 (R1.12.31現在)	令和元年度 出席人数 (R1.12.31現在)	備 考
仙台東	2回	14名	1回	6名	
仙台北	5回	542名	1回	※ 7名	
仙台南	2回	20名	1回	10名	
石 巻	2回	25名	1回	15名	
古 川	2回	97名	1回	26名	
大河原	1回	15名	1回	9名	
計	14回	713名	6回	73名	

※ 今年度も仙台市役所職員を対象とした制度説明会を令和2年1月9 日及び10日
に開催し、2日間で合計478名のご出席をいただきました。

② 関係団体等との研修会・説明会の実施

各関係団体主催による研修会・説明会等へ講師の派遣を行いました。

社会保険協会発行による広報誌「社会保険みやぎ」により制度周知を図りました。

そのほか、支援学校での障害年金の制度説明会や適用事業所に対しての事務講習会、ハローワークでの離職者に対する国民年金の加入、免除手続等の説明会を実施しました。

関係団体等 研修会開催状況	平成30年度 実施回数	令和元年度 実施回数 (R1.12.31現在)	主な内容
社会保険労務士会	3回	4回	算定事務、無料相談会
社会保険協会	9回	10回	新的事務担当者研修 年金シニアライフセミナー
年金協会	7回	4回	年金福祉講座、指導員研修
公共職業安定所	47回	66回	退職者向け制度説明
その他	10回	12回	
適用事業所	5回	8回	適用事務
計	81回	104回	

○その他の特徴的な取り組み

- ・ 仙台郵和会主催の郵政機関退職者やその家族、現職者向けの年金制度説明会（仙台東）
- ・ 山元町民生委員研修（仙台南）
- ・ 民生委員定例会での年金制度説明会（大河原）

③ 「わたしと年金」エッセイ及び「ねんきん月間」の取組

「わたしと年金」エッセイ募集及び11月の「ねんきん月間」の取り組みに関する記事掲載の協力要請を、報道機関に対して行いました。

「わたしと 年金」 エッセイ 応募状況	一 般		学 生						合 計	
			中学生		高校生		大学生			
	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1
全 国	119件	104件	53件	11件	929件	1,132件	53件	43件	1,154件	1,290件
東 北	19件	16件	0件	0件	17件	35件	1件	0件	37件	51件
宮 城	7件	2件	0件	0件	0件	0件	1件	0件	8件	2件

※大学生については、その他専門学校等含む。

(2) 取り組み状況の中間総括及び今後の対策

中間総括	今後の対策等
<ul style="list-style-type: none">・今年度も、全拠点で管内市町村担当者向けの研修会を開催し、制度説明及び情報共有を図りました。・各関係団体主催による研修会や講習会等への講師派遣を積極的に行いました。これまで取り組んできた事業のほかに、新たな事業へ講師派遣することができました。・昨年度、一般及び学生から応募があった「わたしと年金」エッセイについて、今年度は学生からの応募がありませんでした。	<ul style="list-style-type: none">・今後とも市町村担当者との連携を図り、情報共有を密にして、より円滑な年金事業運営に努めてまいります。・様々な事業への講師派遣は、年金制度の周知、広報等を行える大変貴重な機会となっており、更なる講師派遣の場が持てるよう積極的に取り組んでまいります。・学生からの応募がなかったため、学校への年金セミナーアプローチ時や受講時にエッセイ応募に繋がるよう、教育機関へ周知を積極的に行ってまいります。

2 年金セミナー事業

●年金セミナー事業の重点取組方針

学生・生徒を対象とした年金セミナーの更なる拡充を図り、公的年金制度の周知を行っていきます。

また、実施にあたっては、地域年金推進員を積極的に活用していくことと併せて、年金セミナー受講者の要望に応じた教材の作成を行うことで、さらなる充実を図っていきます。

なお、年金セミナー受講者の年齢に近い若手職員を講師として展開し、人前で話す力をより向上させていきます。

(1) 事業の取り組み状況

① 年金セミナーの実施状況

年度初めに県代表年金事務所が県教育庁や高等学校長協会等の関係機関を訪問し、開催の要請を行いました。その後、各年金事務所や地域年金推進員より管内各教育機関に対し、年金セミナーの開催について協力要請を行いました。その結果、今年度もより多くの各教育機関からのご理解、ご協力をいただき、年金セミナーを開催しています。

・各年金事務所別実施状況

年金セミナー 実施状況	平成30年度 実施校数	平成30年度 実施回数	令和元年度 実施校数 (R1.12.31現在)	令和元年度 実施回数 (R1.12.31現在)	参 考 (R2.1月～R2.3月の 実施確定校数)	参 考 (R2.1月～R2.3月の 実施確定回数)
仙台東	11校	22回	5校	12回	5校	10回
仙台北	13校	18回	11校	13回	4校	5回
仙台南	8校	13回	5校	9回	5校	5回
石 巻	11校	19回	6校	11回	5校	8回
古 川	8校	13回	6校	8回	5校	6回
大河原	9校	11回	4校	6回	4校	5回
計	60校	96回	37校	59回	28校	39回

・教育機関別実施状況

教育機関別 実施状況	平成30年度 実施校数	平成30年度 実施人数	令和元年度 実施校数 (R1.12.31現在)	令和元年度 実施人数 (R1.12.31現在)	参 考 (R2.1月～R2.3月 の実施確定校数)
大学、短大	10校	1,264名	11校	1,791名	1校
各種学校	15校	935名	8校	496名	7校
高等学校	34校	3,607名	17校	1,253名	20校
中学校	1校	11名	1校	8名	0校
計	60校	5, 817名	37校	3, 548名	28校

②関係団体との共同開催

昨年度は、仙台国税局及び全国健康保険協会と共同で開催してきましたが、今年度からは新たに、宮城県社会保険労務士会との共同開催を実施しました。

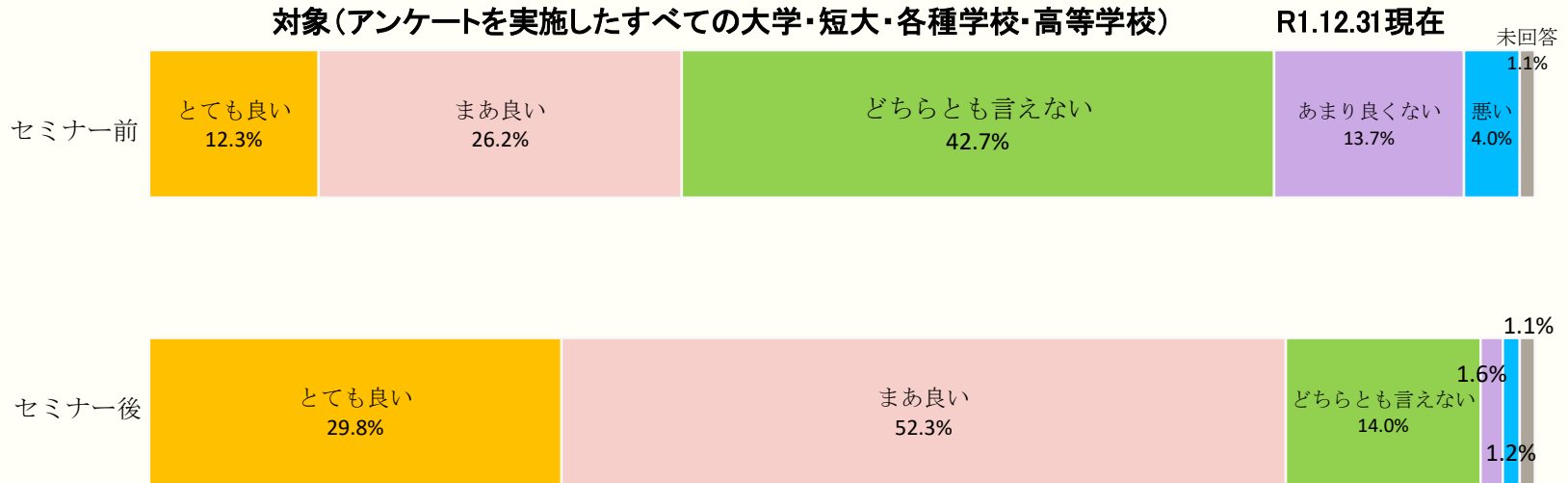
・各関係団体との共同開催状況

教育機関別 実施状況	平成30年度 実施校数	平成30年度 対象人数	令和元年度 実施校数 (R1.12.31現在)	令和元年度 対象人数 (R1.12.31現在)	参 考 (R2.1月～R2.3月の 実施確定校数)
仙台国税局	5校	227名	7校	378名	1校
全国健康保険 協会宮城支部	1校	105名	4校	341名	0校
宮城県社会 保険労務士会			1校	138名	0校
計	6校	332名	12校	857名	1校



宮城県社会保険労務士会の出前講義と年金セミナーの共同開催の様子(東北学院大学)

年金セミナーアンケート結果(宮城県) ～「年金」に対するイメージ～



※講義前の「まあ良い」以上は**38.5%**に対し講義後の「まあ良い」以上は**82.1%**と大きく増加。

<主な感想>

- ・年金というと老齢年金が1番に頭に浮かんだが、他にも障害年金や遺族年金について知ることができてよかった。(高校生)
- ・保険料を納めなければ自分が年金を受け取ることができないため、国民の義務として保険料を納付すべき。(大学生)
- ・セミナーを受ける前は先入観で、年金制度についてあまり良くないイメージを持っていたが、世代と世代の支え合いであることや国民の義務であることを理解し、納得した(大学生)
- ・今の日本のニュースでよく年金がどうだとか、死ぬまでいくら必要だとか、その金額が不適切だとか話しているけど、そんなことで時間とお金を使うなら、今回のセミナーのような時間を増やして、若い世代の年金に対する理解を増やすべきだと思った。(大学生)
- ・支える世代が減少傾向にあるが、今後少子化が更に深刻化した場合、年金制度がどうなってしまうのか気になった。(大学生)
- ・年金制度を知る良い機会となった。若者は自分も含めあまり年金について知らないと思うので、もっと多くの若者に知って欲しいと思った。(専門学校生)

③ 関係機関・団体への協力依頼、連携状況

宮城県教育委員会及び仙台市教育委員会、宮城県高等学校長協会等を訪問し、管内教育機関に対し、年金セミナー開催及びエッセイ募集に係る協力要請を行いました。

④ 地域年金推進員の活動

年度初めより、地域年金推進員が各教育機関に対して年金セミナー開催に向けたアプローチを実施してきました。

その結果、県内全域での統一した取り組みと積極的・効果的なアプローチを行ったことにより、今年度に年金セミナーを計画及び実施いただいている教育機関も多くなっております。

今年度末には、昨年度を上回る実施回数を予定しております。

(地域年金推進員とは)

次代を担う若い世代(生徒)に対して公的年金制度の仕組みや基本理念について正しい理解の普及を推進するため、教職員OB、現役の教職員、学校との関係や生徒へ伝える能力がある者を「地域年金推進員」として委嘱しています。

(2) 取り組み状況の中間総括及び今後の対策

中間総括	今後の対策等
<ul style="list-style-type: none"> ・年金セミナー実施回数は、各年金事務所で昨年の実績を上回ることを目標として取り組んでいます。 ・学校からの要望に合わせた年金セミナーの実施を行っており、使用する資料についても要望に沿って作成しています。 ・各関係機関との合同開催を実施しており、すでに 昨年度を上回る 回数を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年12月末現在において、昨年同時期に比べると実施件数は1回多くなっています。今後開催が決定していく分も含め、今年度末には全事務所で前年実績を上回る見込みです。 ・今後も学校の要望に沿った資料の作成や説明等行っていく、年金セミナーの実施回数及び実施校の拡大を図ってまいります。 ・共同開催することで、学校側や生徒の負担も軽減されることから、積極的に共同開催実施に向けた取り組みを行ってまいります。

3 地域相談事業

(1) 事業の取り組み状況

① 出張年金給付相談

年金事務所において、遠隔地にある市町村での出張年金給付相談を実施しました。

出張年金給付 相談実施状況	実施場所	平成30年度 実施回数	平成30年度 対象人数	令和元年度 実施回数 (R1.12.31現在)	令和元年度 対象人数 (R1.12.31現在)	備 考
仙台東	七ヶ浜町	1回	7名	1回	3名	ねんきん月間
仙台北	大和町	0回	0名	1回	2名	
石 巻	気仙沼市	242回	5,221名	182回	3,386名	毎日開催
石 巻	南三陸町	6回	25名	4回	17名	隔月開催
古 川	登米市	12回	97名	9回	73名	毎月開催
計		261回	5, 350名	197回	3, 481名	

② 国民年金納付相談

年金事務所において、市町村・教育機関での出張年金納付相談を実施しました。

国民年金 納付相談 実施状況	取り組み場所	実施回数	人数	備考
仙台東	東北大学、東北福祉大学、 東北文化学園大学、七ヶ浜町	4回	21名	
仙台北	東北学院大学、東北福祉大学、 東北大学、まほろばホール	4回	18名	
仙台南	東北学院大学、東北福祉大学、 東北大学、東北文化学園大学	5回	14名	
古 川	築館総合支所、南方総合支所	2回	33名	免除申請書等受理
大河原	大河原年金事務所	2回	3名	
計		17回	89名	

③ その他商業施設等での出張相談

- ・ イオンスタイル仙台卸町店で社会保険労務士会及び年金協会との連携による出張年金相談(仙台東・仙台南)
- ・ せんだいメディアテーク、イオンスーパーセンター栗原志波姫店で東北管区行政評価局との連携による1日合同行政相談所での出張年金相談(仙台東・古川)
- ・ イオンモール富谷で年金協会との連携による出張年金相談(仙台北)

(2) 取り組み状況の中間総括及び今後の対策

中間総括	今後の対策等
<ul style="list-style-type: none">・年金事務所への来訪が困難な地域の方々のため、各地で出張年金相談を開催しました。・学生への取り組みとして、学校構内で国民年金保険料にかかる納付相談会を開催しました。・地域住民の方の相談機会を増やすため、新たな商業施設での出張年金相談会を実施しました。	<ul style="list-style-type: none">・管内市町村と連携、協議を行いながら、地域住民の方の利便性を考え、出張年金相談を開催してまいります。・学生の方への年金制度周知も併せて、事前広報等に取り組み、納付相談会の利用者拡大を図ってまいります。・今後とも、市町村、大学、商業施設等での年金相談会の開催に向け、各関係機関と連携を図ってまいります。

4 年金委員活動支援事業

●年金委員活動支援事業の重点取組方針

様々な制度改正等を控えるなか、正しい年金制度の知識や手続き等を周知することは重要となることから、地域型、職域型それぞれの年金委員活動に対して定期連絡会や年金委員研修等の情報発信の充実を図り、必要な情報提供を行っていくことで、地域に根付いた情報提供活動を積極的に実施していきます。

また、関係団体等への働きかけを強化し、委嘱拡大に向けて取り組んでいきます。

(1) 事業の取り組み状況

① 年金委員への研修会、意見交換会実施状況

職域型年金委員に対しては、各社会保険委員会や宮城県社会保険委員会連合会による研修会等へ講師を派遣し、年金制度やエッセイ募集等の周知についての依頼を行いました。

そのほか、年金委員の表彰伝達式に併せて研修会を実施しました。

地域型年金委員に対しては、年金委員連絡会で年金制度の概要や制度改正等についての周知を図り、併せて年金の予約相談やねんきんネットにかかる情報提供を行い、お住いの地域への周知や広報を依頼しました。また、地域におけるより良い公的年金制度の周知・啓発活動等についての意見交換を行いました。

年金委員 研修会等 実施状況	職域型		地域型	
	平成30年度回数	令和元年度回数 (R1.12.31現在)	平成30年度回数	令和元年度回数 (R.12.31現在)
仙台東	10回	5回	5回	4回
仙台北	3回	3回	5回	3回
仙台南	5回	3回	5回	4回
石 巻	5回	6回	4回	3回
古 川	7回	4回	2回	3回
大河原	2回	2回	5回	3回
計	32回	23回	26回	20回

② 年金委員等表彰の実施

多年にわたり年金事業の推進及び発展に貢献された年金委員の方々を対象とした、年金委員功労者表彰伝達式を開催しました。開催にあたり、宮城県社会保険委員会連合会、全国健康保険協会宮城支部及び宮城県社会保険協会との共催により開催しました。

開 催 日 令和元年11月22日

開催場所 ホテルメルパルク仙台

表彰対象 厚生労働大臣表彰 2名

日本年金機構理事長表彰 6名

日本年金機構理事表彰 16名

年金事務所長感謝状 25名



理事長表彰授与の様子



厚生労働大臣表彰受賞者を囲んで

③ 年金委員の委嘱拡大に向けた取り組み

全国健康保険協会宮城支部より健康保険委員の新規委嘱受けた方のうち、日本年金機構への個人情報の提供に同意いただいた方に、年金委員の委嘱勧奨を行いました。

また、加入者20人以上の事業所を対象した新規委嘱の勧奨や職域型年金委員を解嘱される方に地域型年金委員への委嘱替えの勧奨を行い、継続委嘱の勧奨に取り組みました。

年金 委員数	職域型			地域型		
	平成30.3.31 現在	平成31.3.31 現在	令和1.12.31 現在	平成30.3.31 現在	平成31.3.31 現在	令和1.12.31 現在
仙台東	385名	415名	419名	20名	21名	19名
仙台北	519名	537名	538名	36名	32名	28名
仙台南	391名	438名	429名	25名	20名	18名
石 巻	497名	504名	504名	27名	21名	19名
古 川	522名	526名	534名	18名	17名	18名
大河原	285名	285名	280名	8名	7名	9名
計	2, 599名	2, 705名	2, 704名	134名	118名	111名

(2) 取組み状況の中間総括及び今後の対策

中間総括	今後の対策等
<ul style="list-style-type: none">・地域型年金委員向けに各年金事務所で連絡会を開催しており、年金委員への情報発信等を行っております。また、職域型年金委員向けに各関係団体との連携による研修会を開催しました。・年金委員数は、職域型は増加しているものの、地域型は減少傾向となっております。	<ul style="list-style-type: none">・制度改正等の周知及び情報発信を行うため、連絡会・研修会等の内容を充実させ、開催回数についても増加させていくよう取り組んでまいります。・年金委員の拡大に向けて、市町村・社会保険労務士会・年金協会等との連携を図ってまいります。

5 「ねんきん月間」「年金の日」の取り組み

本年度も11月を「ねんきん月間」と位置づけ、公的年金制度の周知・啓発活動を展開しました。

また、平成26年度から毎年11月30日(いいみらい)を「年金の日」として、公的年金制度を身近に感じていただき、年金制度への理解を深めていただくことを目的とした取り組みを、宮城県社会保険労務士会や年金協会の協力をいただきながら実施しました。

ねんきん月間 取り組み内容	取り組み場所	事務所名	回 数	相談者数
学生納付特例申請の 相談会	東北学院大学、東北福祉大学、 東北大学	仙台東・仙台北・ 仙台南	3回	21名
国民年金保険料 納付相談会	まほろばホール、七ヶ浜町、 築館総合支所・南方総合支所 他	仙台東・仙台北・ 石巻・古川・大河原	7回	61名
年金給付の出張相談会	まほろばホール	仙台北	1回	2名
商業施設での相談会	イオンスタイル仙台卸町、イオン モール富谷、イオンモール石巻	仙台東・仙台北・ 仙台南・石巻・古川	3回	51名
年金セミナー	東北工業大学、 第一学院高等学校 他	仙台東・仙台北・ 仙台南・石巻	7回	369名 (参加者)
年金ポスターコンクール	県内年金事務所(ポスター掲示) 古川黎明中学校、金成中学校、 聖ドミニコ学院中学校 他(授賞式)	仙台東・仙台北・ 仙台南・古川	8回	12名 (受賞者)
年金協会と連携した 公的年金加入状況等調査	大崎市内	古川	18日間 (取組期間)	50件

6 第13回宮城県地域年金事業運営調整会議 での主なご意見等

事業種類	ご意見等の内容	取り組み方針
地域連携事業	法律改正等があった場合に、具対的な内容が分かり次第、早めの周知をお願いしたい。	情報が開示されたところで、速やかに周知していくよ 取り組んでまいります。
	市町村での障害年金の窓口相談の件数を減少させるため、支援学校などで制度説明会を行ってはどうか。	12/6に利府支援学校で保護者を対象とした障害年金の制度説明会を実施しました。今後とも制度周知に取り組んでまいります。
	(宮城県年金協会より)11月のねんきん月間の取り組みとして、7支部で協力・連携した取り組みをお願いしたい。	ねんきん月間に併せて、各年金事務所で協力・連携をしながら実施しました。
地域相談事業	外国人のお客様向けに年金制度をPRするための資料があればいただきたい。	脱退一時金等のチラシにつきましては英語のほか14ヶ国語を用意しております。市町村からの要請に対応してまいります。
年金セミナー事業	年金セミナーの開催要請について、年度末には翌年度のカリキュラムが決まるので、その前に実施したほうが良いのではないかな。	新年度の取り組みではなく、今年度の取り組みとして、開催要請を行います。

事業種類	ご意見等の内容	取り組み方針
年金セミナー 事業	(宮城県社会保険労務士会より)学生を対象に労働関係の出前講義を行っているが、共同開催ができるのであればお願いしたい。	10/2に東北学院大学で共同開催を実施しました。今後も更なる共同開催を行っていくよう取り組んでまいります。
	年金セミナーについて進学校は開催が難しいと思われるが、生徒の半数以上が就職する学校においては、まとまった教育を受けるラストチャンスになるので、そういう状況を考えてアプローチをしたらどうか。	各学校へのアプローチを行っていく中で、実施時期や講義内容等につきまして、その学校の状況に合わせたアプローチを行い実施に向けた取り組みを行ってまいります。
その他	ねんきんネットについてはどのくらい活用されているのか。また、大型商業施設での相談会等で周知を行っているのか。	今年度のアクセスキーの発行件数は、令和元年11月末現在、全国で509,319件、宮城県では9,724件となっております。引き続き、より多くの方にご利用いただけますよう、出張年金相談会や制度説明会等で周知に努めてまいります。

7 宮城県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深めていき、制度の加入や保険料納付の向上に繋がるよう地域における支援のネットワーク等を構築し、地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として、地域年金事業運営調整会議を開催しています。

●第12回会議

【開催日】 平成31年1月24日

- 【議事内容】
- ・平成30年度宮城県地域年金展開事業の取組経過
 - ・平成31年度宮城県地域年金展開事業の事業計画(案)
 - ・宮城県年金ポスターコンクール実施計画(案)



運営調整会議の様子

●第13回会議

【開催日】 令和元年7月18日

- 【議事内容】
- ・平成30年度宮城県地域年金展開事業の実施結果
 - ・令和元年度宮城県地域年金展開事業の事業計画及び取組経過
 - ・年金セミナー・知って役立つ健康保険セミナー・租税教室の共同開催



原田委員長による議事進行

8 各年金事務所取り組み状況

仙台東年金事務所（宮城県代表年金事務所）の取り組み

○年金セミナー事業

宮城県年金ポスターコンクール開催にあたって、中学校へのアプローチを積極的に行いました。また、宮城県社会保険労務士会との共同開催に向けた調整を行い、実施することができました。

今後も、県内全事務所分のアプローチ、資料準備、アンケートの集約等の一括管理や、全国健康保険協会や国税局との共同開催も実施していき、県全体の実績向上や若年世代の方々への年金制度の周知に努めてまいります。



健康保険委員・年金委員合同での
制度説明会の様子

○地域連携事業

県代表事務所として県内全体の地域連携事業を推進するために、関係機関等に対して「わたしと年金」エッセイ募集の周知広報、県内中学校に対して「年金ポスターコンクール」開催案内の送付等を行ってきました。4月には、昨年度の東北学院大学に引き続き、東北文化学園大学(4/11)と東北福祉大学(4/25)それぞれの学校及び東北厚生局との合同開催イベントとして、「学生納付特例法人指定通知書交付式」を開催し、交付式に合わせて各キャンパス内で納付相談会を実施しました。

また、宮城県社会保険協会や宮城県年金協会をはじめとした関係団体の各種研修会への職員派遣や連携して年金相談会を実施するなど、これからも県内全体の地域連携事業の推進に取り組んでまいります。

仙台北年金事務所の取り組み

○年金セミナー事業

昨年度は7月から開催となっていました、今年度は5月から開催することができ、12月末までに13回678名の学生に対し、年金セミナーを実施しました。実績は昨年同時期と比べ3回多くなっています。学生の中には、授業で習っているケースはありましたが、年金制度は先のこと、将来に対する不安感から、自分たちはもらえない、働いて生活する等、制度に対する不信感を持っている学生もいます。学生でも20歳になれば国民年金への加入が必要で、保険料の納付義務が発生します。納付できなければ学特申請が必要なこと、老齢年金以外にも障害や遺族年金があるので、何もせずに放置していることはリスクになることを理解していただけるよう、分かりやすい説明に努めています。



年金セミナー風景

○地域相談事業

台風19号や豪雨により河川が氾濫し、多くの世帯に被害が発生したことにより、11月21日に予定していたまほろばホール(大和町)での年金相談会及び納付相談会は、未納者に対する納付相談から、被災者の免除申請等を主として対象者を変更して開催しました。家屋損壊で相談に来た方はいませんでしたが、家財や車が被災された方もおり、納付相談は11名、年金相談が2名でした。個別の年金記録を反映した案内状ではなかったため、市町村広報をご覧になって来所された方もいらっしゃいました。

仙台南年金事務所の取り組み

○年金セミナー事業

当事務所では、セミナー講師6人体制で管内の学校に対し年金セミナーを実施しています。今年度は、12月末時点ですでに9回セミナーを実施しておりますが、今年度の特徴としては地域年金推進員の協力のもと、国税局と連携を図りセミナーを合同開催することで、税金や公的年金の必要性について理解を深めていただくことができました。

今年度も終盤に差し掛かってきましたが、昨年度以上のセミナーを実施できるよう、地域年金推進員の協力のもと取り組んでまいります。

○地域相談事業

11月の「ねんきん月間」には、教育機関での年金セミナーの開催や商業施設での出張年金相談を開催しました。11月29日に開催しました、イオンスタイル仙台卸町での出張年金相談では、20名もの方々が年金相談に来場され、お帰りの際には「自宅から年金事務所まで離れているから近くまで来てもらえて嬉しかった」、「夫にも伝えるから来月も来てもらえないか」、「こういった取り組みをもっと積極的に実施してほしい」などといったお言葉をいただき、改めて出張相談を必要とされている方々がいらっしゃることを再認識した一日となりました。

来年度は、今年度のねんきん月間の取り組みを総括のうえ、さらに地域に根ざした地域相談事業の推進を、事務所一丸となって取り組んでまいります。



出張相談会の様子

石巻年金事務所の取り組み

○年金セミナー事業

9月に、石巻管内唯一の4年制大学である石巻専修大学において、3年生を対象とする年金セミナーを実施しました。セミナーの開催にあたっては、参加学生全員が3年生ということもあって、20歳以上の方を対象としたまたとない機会と捉え、「ねんきんネットアクセスキーを参加学生全員から取得しよう！」をスローガンに掲げ計画を練りました。

まずは、大学事務部の方にご協力いただき、事前告知用ポスターの学内掲示、学内メールによる学生への事前告知などを行っていただきました。セミナー資料にアクセスキーの申込書を入れただけの昨年度は、取得2件という結果を踏まえ、今年度はセミナーの冒頭に5分の時間を設け、ねんきんネットのメリットの説明と、それに続けてその場でアクセスキーの申込書を書いてもらう時間を作りました。結果、セミナー参加187名中129名の学生からアクセスキーの申込書を受理する好結果につながりました。今後も年金セミナーを軸とした事業連携を、さらに強化していきたいと考えています。

○年金委員活動支援事業

地域型年金委員連絡会について、今年度は年4回以上の開催に向けて方針を決めるべく、年度始めの連絡会において、年金委員の皆様の昨年度の活動状況についてアンケートをとりました。回答のなかで、委員の皆様のお住まいの町内会や敬老祝い会での制度の周知、チラシの配布、ポスターの掲示依頼、また、所属する老人クラブや趣味のコミュニティでの個別相談に乗っていただいたりと、非常に幅広く活動していただいていることがわかりました。結果を受けて第2回目の連絡会から、好事例について他の委員の皆様にも展開すべく、委員の皆様からの講話の時間を作り、委員の皆様同士の連携の強化と、会の活性化を図っています。



講話をする地域型年金委員さんの様子

古川年金事務所の取り組み

○年金セミナー事業

昨年度を上回る14回を目標に高校・大学を中心に、12月までに8回のセミナーを実施しました。今年度は、受講生の年齢に近い若手講師陣のスキル強化を行うため、所内や、地域型年金委員の皆様の前で模擬セミナーを実施し意見をいただくことで、昨年度以上に質の高い年金セミナーが開催できるよう体制を構築しました。

また日本年金機構が目指す人生100年時代を見据えた重要なインフラとして、未来にわたり、国民の生活を支え続けるという「ミッション」を説明していくことで、より興味を持って聞いていただける講義となるよう取り組みました。

○年金委員活動支援事業

年金委員の皆様には、地域・企業と年金事務所を繋ぐかけはしとして重要な役割を担っていただいています。

11月のねんきん月間では、3会場にて職域型年金委員の研修会を行い、昨年度より30名増の約200名の参加をいただきました。特に「在職老齢年金について」の講義は近年高齢者雇用が多くなっており、熱心にメモをとる方も見受けられました。また、「電子申請」・「ねんきんネット」利用促進についての説明を実施する等、制度周知以外にも、お客様の利便性向上を念頭に取組んでまいります。



職域型年金委員研修会の様子

大河原年金事務所の取り組み

○年金セミナー事業

今年度、管内で初めてとなる大学での年金セミナーを実施しました。新入生600名受講後のアンケートでは、「公的年金には種類があることを初めて知り、年金への理解が深まった」との反応があり、年金に対するイメージについても良い方向に変化が見られました。

なお、残念ながら一部で、短い時間では年金制度について理解できなかったとのご意見もあり、今後、大学の協力を得ながら、説明会を実施する等、制度周知に取り組んでまいります。

3月までに4校の実施を予定していますが、さらに実施校を増やすべく、アプローチを強化し、また、わかりやすい制度説明を行うため、引き続き、セミナー講師のスキルアップに取り組んでまいります。

○地域連携事業

自治会や企業等からの説明会の要請を受け、職員を派遣し、年金制度の説明を行っております。他に一部自治体からの要請もあり、民生委員の研修会にも参加し、国民年金免除制度について説明を行いました。

11月のねんきん月間には、「ねんきんネット」及び「予約相談」の周知を促進するため、朝の通勤時間帯を狙い、大河原駅前広場にてリーフレットの配布を行いました。また、年金事務所内でも、お客様の待合スペースにて近隣の幼稚園の協力により、園児による祖父母の似顔絵展示も開催しました。

今後も地域と連携して、講師派遣、年金制度の周知に積極的に取り組んでまいります。



大河原駅前広場にて「リーフレット配布」の様子